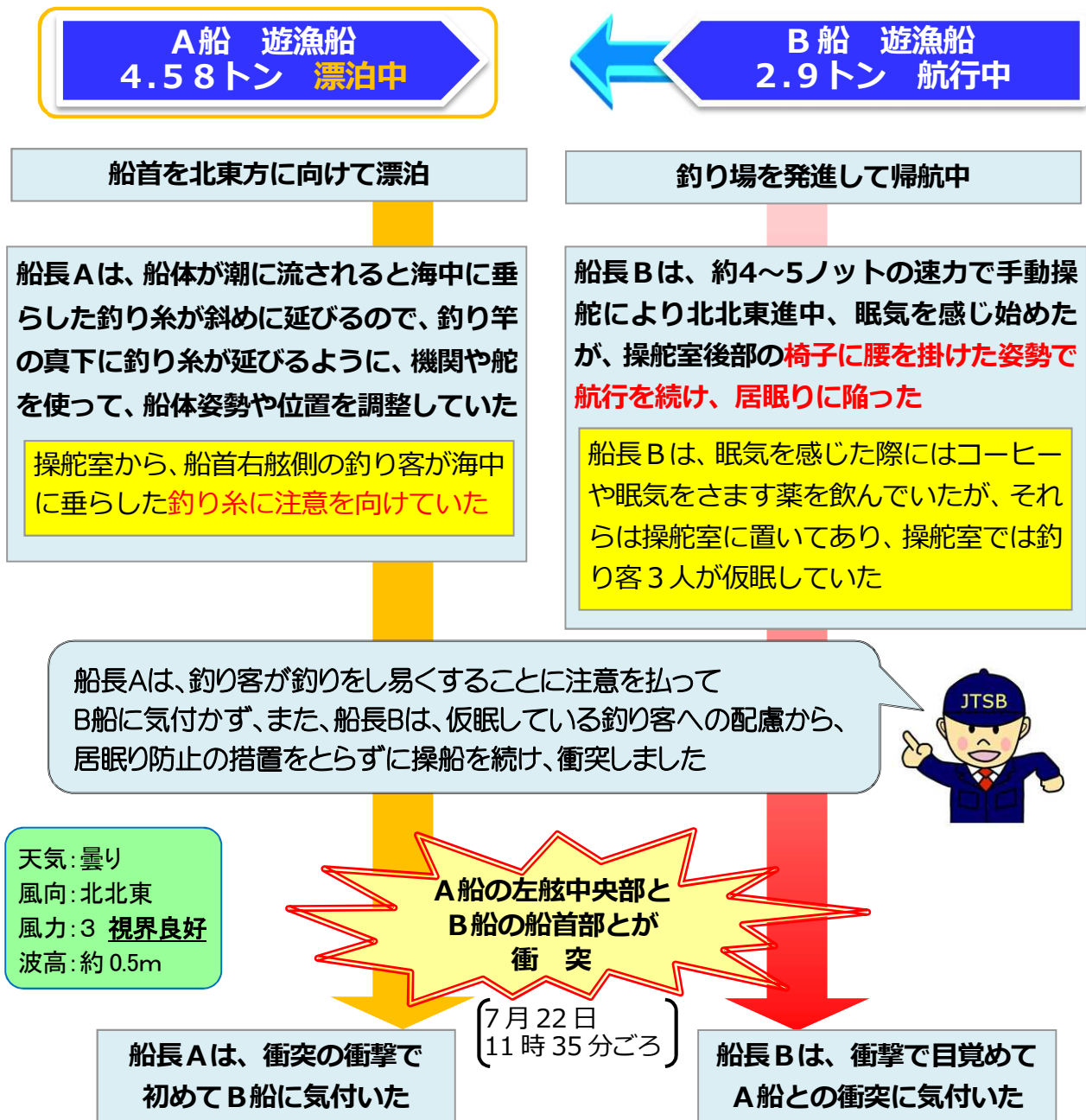


事例4 漂流中、釣り客の対応を行っていた場合

漂流中、釣り客への対応を行っていて、接近する遊漁船に気付かず衝突

概要：A船は船長Aが1人で乗り組み、釣り客3人を乗せて漂流中、
B船は船長Bが1人で乗り組み、釣り客3人を乗せて航行中、両船が衝突した。
A船：操舵室左舷側に破口、釣り客3人が負傷（打撲等）
B船：船首先端部に損傷、死傷者なし



再発防止に向けて（事故防止策）

- ・漂流して釣りをしている場合でも、周囲の見張りを適切に行うこと
- ・操船中に眠気を感じた場合は、椅子から降りてコーヒーを飲んだりするなどして眠気を払うこと

本事例の調査報告書は当委員会ホームページで公表しております。（平成25（2013）年3月29日公表）
http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2013/MA2013-3-21_2012yh0114.pdf